

医学系研究に関する情報公開文書

研究課題名	肺切除に伴う気管支鏡下肺マーキングの放射線照射の妥当性に関する検討
研究責任者	中尾啓太
研究機関名	日本赤十字社医療センター 呼吸器外科
研究目的と意義	<p>術中触知不能が予想される微小肺病変の切除の際には、術前に気管支鏡下マーキング(Virtual assisted lung mappin; VAL-MAP)を行うことがあります。 VAL-MAPでは、放射線照射を伴う気管支鏡検査によるマーキングを行い、検査後にCTを撮影し、肺の表面に「地図」を作成します。(マッピング)。</p> <p>他の肺切除の際に行われる手技(気管支鏡下生検やCTガイド下肺生検など)と比較して、検査の際の放射線照射量が妥当であるかを検討します。</p>
研究方法	<p>●対象となる患者さん 2017年1月～2020年3月に当センターで肺切除術を施行された患者さんのうち、術前にVAL-MAP、気管支鏡科生検、CTガイド下生検などの手技を受けられた方</p> <p>●研究に使用する資料 (1)診療録 (2)画像検査に付随する情報</p> <p>●研究方法 通常の診療の記録や画像検査を行った際に記録されている情報を用いて後ろ向きに検討します。 この臨床研究は、日常の中での経過を調査するものであり、研究に伴う治療上の不利益はありません。この研究に参加を希望されない場合は下記までご連絡下さい。 研究結果は学会・論文等で公表致します。</p>
問い合わせ先	<p>日本赤十字社医療センター 〒150-8935 東京都渋谷区広尾4-1-22 担当者:呼吸器外科医師 中尾 啓太 TEL:03-3400-1311 FAX:03-3409-1604</p>